

資源・環境関連材料部会 第16回セラミックス関係分析技術者研究発表会 開催報告

資源・環境関連材料部会では、平成26年11月25日（火）に、東京都立産業技術研究センターとの共同主催、日本分析化学会との共催で標記研究発表会を開催しました。

参加者は31名で、6件の研究発表と1件の部会活動報告がなされました。

研究発表では、ICP発光分析法に関して電気加熱気化導入法や各種補正法による高感度、高精度化への取り組み、ガラスビード法を用いた蛍光X線分析法、高融点材料に対する化学分析技術、硫酸水素アンモニウムを用いた難分解性ファインセラミックスの分解法など、様々な分析技術についての講演が行われました。

また、当部会の化学分析分科会の森川前主査から「日本セラミックス協会炭化けい素（微粉末）認証標準物質の作製」と題して、在庫切れとなった現ロットに替わる新ロット（JCRM R024, R025, R026）の開発・供給に携わった化学分析分科会の活動報告がなされました。

いずれの発表にも多くの熱心な質疑応答があり、参加者各位の関心の高さがうかがわれました。

今回は昨年のセラミックス化学分析技術セミナーと同じく東京都立産業技術研究センターでの開催でしたが、多くの方々にご参加いただき、盛況のうちに閉会することができました。ご参加くださいました皆さまに厚くお礼を申し上げます。

また、当研究発表会の企画、運営に多大のお力添えをいただきました部会役員、東京都立産業技術研究センターおよび分科会関係者の各位に感謝申し上げます。

当部会の化学分析分科会は、現場で活躍するセラミックス関係の分析技術者が一堂に集う国内で唯一の組織です。昨年9月には昭和50年の第1回から数え第100回の定例会の会合を開催致しました、

今後も定例会の会合の他隔年に開催する研究発表会とセミナーを通じて、各種情報の交換、分析技術の研鑽や技術者の交流を図っていきます。引き続きまして、日本セラミックス協会会員の皆さまのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

（資源・環境関連材料部会化学分析分科会）



写真1 挨拶をされる渡村部会長



写真2 講演風景